

福島県泉崎村研修職員の皆さんからメッセージ



下條村へ研修に来ていた皆さんです。ひとりはいずみちゃんの中です。

平成二十二年から四年半、福島県泉崎村役場から研修に来ていた皆さんからのメッセージです。(敬称略)

星 雅之(泉崎村下條会会長 平成二十二年前期)

下條村の皆さんご無沙汰しております。私が研修に行っていた時は、七年に一度の御柱祭りの年でした。各地区で行っているこの祭りをテレビで毎日のように報道されていたことを思い出します。

三村 弘(平成二十二年後期)

私が研修中に東日本大震災が突如発生、泉崎と音信不通の3日間、被災

地を映し出すテレビを観ると涙が止まりませんでした。その当時、村民の皆さんの協力で大量の救援物資をお預かりしたことが今でも忘れません。

田崎 洋(泉崎村下條会副会長 平成二十三年前期)

私が世話になったのは、東日本大震災の直後であったため皆さんには大変ご心配をいただき、今でも心温まる応対に感謝しております。下條村で研修したこと、更に出会えた皆さんのことは生涯において私の「宝」として大切にしていきたいと思っています。

遠藤貴美雄(平成二十三年後期)

LOVE下條の皆さんお元気ですか。皆さんとお別れして二年が経ってしまいました。今でも楽しい時間・雄大な風景を鮮明に覚えております。特に朝日は目に焼き付いて離れません。絶対また帰村します。

松川 和孝(平成二十四年前期)

皆さん、ありがとうございます。半年間、先進の村づくり施策を学ばせて頂き、また、恩田井水、三十三観音の踏査、ソフトボールなどを通じた交流、二十年ぶり(?)の庁舎前池清掃、ガレージ：得難い経験をさせていただき

ました。

岡崎 清美(平成二十四年後期)

下條村の皆さん研修中は大変お世話になりました。貴村での研修は、自分にとって公私に渡り貴重な経験であり今後の糧となります。下條村は「第二のふるさと」です。皆さんの暖かい心に触れるために、また里帰りします。

田崎 寿之(平成二十五年前期)

下條村の皆さん、半年間の研修期間中については大変お世話になりました。また、二十五年九月に発生しました記録的大雨による災害の際においては職員皆さんの献身的に活動する姿を見るのができ、大変感銘を受けました。今回の研修で学んだことを今後の泉崎村の発展につながるよう努めて参りたいと思います。

木野内 巖(平成二十五年後期)

私が研修でお世話になった期間は、台風被害があった直後で、復旧への準備を進めている時期でした。村職員と村民の方々が力を合わせて取り組んでいる姿が、今でも印象に残っています。

緑川 利昭(平成二十六年前期)

各地区それぞれが行っている夏祭り等の行事。住民の意識の高さ、結束、そして人々の繋がりを大切にしている思い。その思いが全国に名を馳せる下條村を創っているのだと、強く感じた半年間でした。

泉崎村岡部副村長 作詞・作曲
「下條恋歌」

下條恋歌

作詞・作曲 岡部副村長



朝露こぼれる信濃路を 歩けば遠くでアルプスが
また会えたねと微笑んだ ここは下伊那下條で
暮らしたあの頃思い出す あなたに初めて逢ったのは
雨が降るバス停で だまてハンカチくれた日よ。

青い空と秋桜を 水面に映す「おおくて湖」
思い出話に日が暮れた そこは下條睦沢で
暮らしたあの頃思い出す たった半年だ「たけど
いつも笑顔でいてくれた 優しく溢れるあの娘(ひと)よ

坂道小路の里山に 赤いリングが熱れる頃
夕日に頬を染めながら そと小指をからませて
また逢う指切りした後 瞳(こ)を潤ませて小まわりで
帰ったあの娘の黒髪は 心のふる里下條よ。

研修職員の想いを岡部副村長さんが、作詞・作曲してくれました